

第4節【森林・林業部門】災害に強い森林づくりと森林資源の循環利用の推進

1 10年後の目指す姿

- ◎風倒木対策を含めた適切な森林整備の推進によって、災害に強い健全な森林づくりが着実に進んでいます。
- ◎森林環境譲与税や森林経営管理制度の活用によって市町主体の森林関連施策が充実し、県内の森林整備が進展しています。
- ◎森林資源の循環利用のサイクルが定着し、県産木材が多方面で活用されています。

2 現状と課題

令和元年房総半島台風では、強風により各地の森林で風倒被害が発生し、周辺のインフラ施設等にも被害が及びました。近年、気象災害が激甚化・頻発化していることを踏まえ、被災森林の復旧を進めるとともに、風倒木による被害を未然に防ぐための森林整備や森林の有する公益的機能を強化するための間伐等、適切な森林整備が進むよう支援する必要があります。

また、松くい虫被害等により疎林化した海岸県有保安林等については、津波被害を軽減し飛砂や潮害から県民の生活を守るため、適切に復旧するとともに災害に強い森林に再生していく必要があります。

さらに、人工林の大半が本格的な利用期を迎えていることから、森林資源を循環利用しながら森林整備を進めることが重要な課題となっています。

【数値目標】

項目	現状（令和2年度）	目標（令和7年度）
災害に強い森林づくり 推進面積（累計）※	25.6ha	136ha
森林整備による木材の 生産量	4,355m ³	6,100m ³

※令和元年度からの、被災森林の復旧、森林整備による倒木対策、山地災害対策、海岸県有保安林の整備・再生面積の累計

3 主な取組内容

①災害に強い森林づくり

倒木被害森林の復旧、インフラ施設周辺における倒木被害の未然防止につながる森林整備や間伐等の適切な森林整備を支援することにより、災害に強い健全な森林づくりを進めます。

また、山腹崩壊や土砂の流出による災害の発生を軽減するため、山地治山事業などの山地災害対策を推進します。

さらに、企業や市民活動団体等の協力も得つつ、病害虫に抵抗力のあるクロマツや広葉樹の植栽等により、自然災害に強い海岸県有保安林の整備・再生を行います。

②森林資源の循環利用

森林簿や林相区分図等の資源情報等を活用し、林業事業者等における森林経営計画の策定を支援することにより、効率的・計画的な森林整備を促進します。

また、森林環境譲与税や経営管理制度を活用した市町による森林整備の取組が円滑に進むよう、千葉県森林経営管理協議会と連携して市町を支援していきます。

さらに、多くの県民が利用する公共建築物や民間施設等における木材利用を促進し、県産木材の需要を高めていきます。